

# 施設訪問ごんじちは

訪問先(さいたま市)

## きらり保育園

園長 笠原 栄希先生



玄関を入ると、数人の女の子が靴箱用ほうきと塵取りを持ち、靴箱を掃除しています。「先生のところも掃除しよう」と、とても楽しそうです。「こんなに取れたよ」と、塵取りを片手に園長先生に報告をしていました。

### 創めは、一人から…

「働きたいのに保育園に入れない」という近所のお母さんの声を耳にされた理事長先生が、平成一六年二月、短大を卒業したばかりの娘さんと二人、ご自宅の一部を改装し、一念発起、「チャイルドルームつばさ」を創め、この親子さんが利用者の第一号となりました。

きらり保育園は、埼玉高速鉄道の浦和美園駅が最寄り駅、近くには大きな商業施設や埼玉スタジアムがあります。園周辺は想像以上に田んぼや畑が広がり、のどかな雰囲気を残しています。先週末に運動会を終えたばかり、雨間の一日となったこの日、思い思いに園外へ出かけてゆく子ども達に迎えられました。

平成一七年五月、さいたま市より家庭保育室の認定を受け「つばさ保育園」へ改名。平成二〇年には、さいたま市ナールールームの認定を受けました。そして、利用者が五〇名を超えた頃、平成二一年八月、つばさ

保育園が浦和美園駅前へ移転、その跡地に平成二四年四月、きらり保育園、続いて平成二六年四月、吉川市にきらり美南保育園が開設されました。

「第一号利用者の男の子、中学生になっているのよ」と理事長先生。発足当初に思いを馳せていらっしやいました。

### 「絆」「共育」「個性」

「絆」「共育」「個性」を保育理念に様々な取り組みをされています。

専任講師による英会話や英語遊びを週に一回実施、月に一回選択理論を取り入れ子ども達の自由な創造性を育てています。

ほかに、リトミックや楽器指導、園長先生自らが先頭となり年長児は和太鼓に取り組んでいます。

三園合同の宿泊保育では、大洗方面へ出掛け水族館見学等を満喫します。その後、保育園へ帰り宿泊。夜のお楽しみでお化けになった園長先生、あまりにもリアルすぎて子どもが怖がり響きをかかってしまったこともあったと伺いました。

四〜五歳児クラスになると、山登り体験があります。目指す

は筑波山や太平山です。自分の足でしっかりひと歩一歩登り、体力の限りを尽くし頂上に身を置いたとき、深い達成感を味わえる体験です。

### 見守る保育

開園から四年目を迎え、子ども達の幸せな人生を願う笠原園長先生は、見守る保育を取り入れることにしました。職員が交替で研修に出かけ、今までの保



育を振り返り、少しずつ見守る保育を実践されています。お手伝い活動もその一つです。靴箱掃除、下のクラスの子のお昼寝トントン、給食のメニューを書く係や時間を知らせる係等、子ども達が自主的に活動しています。自分で選び、自分で決めて行動をしているため、途中で投げ出すことはないそうです。

三〜五歳児は、縦割りのグループを軸に、年齢別の活動も進めています。

見守る保育を実践していくと、今まで気付かなかった子どもの心の動きや環境設定等に保育者自らが気づき、少しずつ保育に

### 変化が…

きらり保育園で、独自に取り組んできた保育と見守り保育が融合、素敵な変化を遂げ、きらり保育園ならではの保育が創成されていくことを感じました。

### 地域に活かされ、地域に根差す

天気の良い日は、園外へ出かけ、生き物や植物にたくさん触れ、季節の移り変わりを肌で感じています。また、散歩の途中、庭先から声を掛けられ季節の花や収穫時を迎えた野菜や果物をいただくこともあります。また、園の広場の一角にある畑は、近所の方が畝の作り方や肥料の種類までアドバイスを下さること。園行事等にも色々な協力をいただくそうです。

さいたま市に合併する以前から岩槻市釣上地区に生活の拠点置き、常に地域の方々の声に耳を傾けて、地域の活動に積極的に参加、祭等の協力も惜しまないといいました。このように地域を大切にされていらっしゃるからこそ、地域の方々も保育園の子ども達を大切に思ってください。



### 「ありがとう」に込められた思い

保育・教育の役割は子ども達がより幸福な人生を送るための基盤作りの時期とおっしゃる笠原園長先生。

大人になった時の生き抜く力となる、基本的な生活習慣、遊びをとおした身体づくり、好奇心や挑戦する気持ち、友達と関わりながら自分も他人も受け入れる優しさと勇気を育むことにご尽力されています。

「きらり」の名前は、園長先生の恩師の金言「何かで一番星に」という励ましの言葉から名付けられたのだそうです。人は

それぞれに性格や能力、環境も違う、その違いを認め合い団結することで生まれる力を大切にしていきたいという強い思いが込められています。

きらり保育園は、たくさんの方々の優しい眼差しの下、乳幼児期を安心して過ごすことができる環境を整えていらっしやいました。

さて、駐車場の一角に遊具が置かれ、数本の庭木が植えられています。園長先生は、こちらに目をやりながら嬉しそうに「ツリーハウスを作るのが夢です。」とおっしゃっていました。

これから、たくさんの方々と光る一番星が卒園児と同じ数、きらり保育園を照らしていくことでしょう。

お忙しい中、丁寧な対応をありがとうございました。感謝申し上げますとともに、園長先生をはじめスタッフの皆様の活躍ときらり保育園のますますのご発展をお祈り申し上げます。